



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 中央魚類株式会社
 コード番号 8030 URL <http://www.marunaka-net.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 伊藤 裕康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 福元 勝志

TEL 03-6633-3000

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	32,655	17.5	708	76.2	923	89.9	626	151.0
2022年3月期第1四半期	27,782	31.1	402	103.6	486	60.8	249	6.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 837百万円 (150.2%) 2022年3月期第1四半期 334百万円 (29.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	156.91	
2022年3月期第1四半期	62.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	74,871	24,951	31.3	5,858.70
2022年3月期	71,613	29,031	34.1	6,116.62

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 23,403百万円 2022年3月期 24,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				70.00	70.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	8.1	1,500	24.3	1,600	21.2	950	17.6	237.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	4,315,300 株	2022年3月期	4,315,300 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	320,681 株	2022年3月期	320,681 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	3,994,619 株	2022年3月期1Q	3,994,646 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、高齢者を中心に3回目のワクチン接種が進んだこと、重症化リスクの少ない変異型に置き換わったこと等により、新規感染者数の減少による行動制限の緩和、経済優先の政策による外食や宿泊需要等のサービス分野での個人消費の持ち直しがみられるようになりました。その一方で中国のゼロコロナ政策による消費や生産の停滞、ウクライナ侵攻の長期化によるエネルギー、食糧価格の高騰は世界各国で記録的な物価上昇の要因となっています。また米国の金融政策による円安ドル高は我が国における輸入コスト増を引き起こしており景気の下振れ要因となっています。

こうした状況下、当社グループの中核事業である水産物卸売事業においては、量販店向け、海外市場向けの販売数量は減少するも単価高の影響により売上高、売上総利益ともに順調に推移しました。冷蔵倉庫事業は入在庫量の増加により売上高は順調に推移しましたが、電力料、荷役作業費等の増加により営業費は増加しました。

その結果、当社グループの売上高は32,655百万円(前年同期比17.5%増)となり、営業利益は708百万円(前年同期比76.2%増)、経常利益923百万円(前年同期比89.9%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、626百万円(前年同期比151.0%増)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

(水産物卸売事業)

当第1四半期連結累計期間においては、販売数量は減少するも商品単価高の影響により、売上高30,638百万円(前年同期比18.9%増)、セグメント利益は453百万円(前年同期比515.9%増)となりました。

(冷蔵倉庫事業)

当第1四半期連結累計期間においては、冷凍食品等の市販用商材を扱う物流センターが好調で推移した結果、売上高は1,666百万円(前年同期比5.8%減)、セグメント利益は123百万円(前年同期比35.9%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

当第1四半期連結累計期間においては、物件売却による賃貸収入減となり、売上高は193百万円(前年同期比48.6%増)、セグメント利益は126百万円(前年同期比7.5%増)となりました。

(荷役事業)

当第1四半期連結累計期間においては、顧客への配送業務が増加したことにより、売上高は156百万円(前年同期比36.9%増)、セグメント利益は4百万円(前年同期比75.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金の増加361百万円、売掛金の増加900百万円、商品及び製品の増加2,162百万円、投資有価証券の増加285百万円などにより、3,258百万円増の74,871百万円となりました。

(負債)

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金の増加1,846百万円、短期借入金の増加5,987百万円などにより7,337百万円増の49,920百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上626百万円、資本剰余金の減少1,348百万円、非支配株主持分の減少3,049百万円、剰余金の配当による減少279百万円などにより、前連結会計年度末に比べ4,079百万円減少し24,951百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

7月に入り新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しており、東京都においては一日3万人を超える過去最多の陽性者を出すなど急激な感染拡大が続いております。また世界的なエネルギー、食糧等の高騰や円安による輸入コストの上昇等がみられることから、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続くものと想定されます。

今期の予想につきましては、第1四半期においては当初計画を上回る推移を示しておりますが、今後の世界経済の行方が不透明であることから、現時点におきましては2022年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,542	7,903
受取手形	27	29
売掛金	11,929	12,829
前渡金	24	6
商品及び製品	8,169	10,331
原材料及び貯蔵品	52	50
その他	1,015	939
貸倒引当金	△359	△346
流動資産合計	28,402	31,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,063	21,682
機械装置及び運搬具(純額)	1,621	1,545
土地	6,354	6,317
リース資産(純額)	697	746
その他(純額)	202	206
有形固定資産合計	30,940	30,498
無形固定資産		
借地権	2,341	2,341
のれん	28	21
その他	579	561
無形固定資産合計	2,949	2,924
投資その他の資産		
投資有価証券	7,833	8,119
長期貸付金	82	182
差入保証金	300	300
繰延税金資産	398	391
退職給付に係る資産	588	594
その他	290	303
貸倒引当金	△172	△186
投資その他の資産合計	9,322	9,706
固定資産合計	43,211	43,128
資産合計	71,613	74,871

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,097	11,943
短期借入金	4,400	10,387
1年内返済予定の長期借入金	1,798	1,750
未払金	187	545
未払法人税等	619	339
賞与引当金	259	125
役員賞与引当金	31	—
修繕引当金	20	15
その他	2,567	2,467
流動負債合計	19,980	27,575
固定負債		
長期借入金	18,538	18,136
長期末払金	205	199
繰延税金負債	1,159	1,246
役員退職慰労引当金	13	11
退職給付に係る負債	1,460	1,476
その他	1,224	1,273
固定負債合計	22,601	22,344
負債合計	42,582	49,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,995	2,995
資本剰余金	1,348	—
利益剰余金	17,636	17,775
自己株式	△695	△695
株主資本合計	21,285	20,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,040	3,228
退職給付に係る調整累計額	107	99
その他の包括利益累計額合計	3,148	3,327
非支配株主持分	4,597	1,548
純資産合計	29,031	24,951
負債純資産合計	71,613	74,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	27,782	32,655
売上原価	24,835	29,158
売上総利益	2,947	3,496
販売費及び一般管理費	2,545	2,788
営業利益	402	708
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	110	195
持分法による投資利益	—	20
その他	23	50
営業外収益合計	134	268
営業外費用		
支払利息	45	48
持分法による投資損失	3	—
その他	1	4
営業外費用合計	50	53
経常利益	486	923
特別利益		
固定資産売却益	187	84
補助金収入	2	30
特別利益合計	189	114
特別損失		
固定資産圧縮損	—	30
特別損失合計	—	30
税金等調整前四半期純利益	675	1,007
法人税等	297	348
四半期純利益	377	658
非支配株主に帰属する四半期純利益	128	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	249	626

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	377	658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	187
退職給付に係る調整額	△1	△8
その他の包括利益合計	△43	179
四半期包括利益	334	837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208	805
非支配株主に係る四半期包括利益	125	31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2022年2月28日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である株式会社ハウスイの普通株式に対する公開買付けを実施し、同社の普通株式を取得したことなどにより、資本剰余金が1,556百万円減少しました。これにより、資本剰余金が負の値になったため、当該負の値を利益剰余金から減額しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	水産物 卸売事業	冷蔵倉庫 事業	不動産 賃貸事業	荷役事業	計		
売 上 高							
外部顧客への売上高	25,769	1,768	130	114	27,782	—	27,782
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	73	43	89	209	△209	—
計	25,770	1,842	174	204	27,991	△209	27,782
セグメント利益	73	192	118	17	402	△0	402

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	水産物 卸売事業	冷蔵倉庫 事業	不動産 賃貸事業	荷役事業	計		
売 上 高							
外部顧客への売上高	30,638	1,666	193	156	32,655	—	32,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	86	43	57	188	△188	—
計	30,638	1,753	237	214	32,843	△188	32,655
セグメント利益	453	123	126	4	708	△0	708

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。